

6月の安心かわら版

6月の主な行事

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1日 : 写真の日、気象記念日 | 16日 : 和菓子の日 |
| 2日 : 横浜港・長崎港開港記念日 | 19日 : 父の日 |
| 4日 : 虫の日 | 21日 : 夏至 |
| 5日 : 世界環境デー | 26日 : 露天風呂の日 |



今年の梅雨を快適に！カビ・湿気対策

梅雨シーズンに入ると気になるのが、カビや臭い。
カビの発生条件や予防法を学んで今から梅雨時期に備えましょう。



■カビの発生条件とは？

- 温度：15～30度 ※カビによっては低温で成長する種類もあります
- 湿度：70%以上 ※湿度が高いほど成長も早くなります
- 栄養分：食べ物の食べこぼしなどのゴミ、皮脂、水垢などの汚れがカビの栄養源になります。カビは微生物の一種です。空中を浮遊しているカビの胞子は、条件がそろった場所に落ちると増殖します。そして増殖したカビは、しつこい汚れや不快な臭いの原因になります。カビ発生を防ぐためには、「温度・湿度・栄養分」を絶つことが重要です。その中でも一番大切なのは「湿度を下げること」です。合わせて、こまめな掃除で栄養分を減らしましょう。カビの胞子はアレルギーを引き起こす原因の一つともいわれています。家の中で浮遊しているカビの胞子はホコリが溜まりやすいところに同じように溜まるので、こまめにホコリを掃除することも大切です。

■カビ・湿気の対策方法

- 入浴後はダブルシャワーで掃除
高温多湿な浴室は、カビが発生しやすい場所です。カビ発生の原因である湿度を下げるためにも、換気を徹底します。入浴後はお湯と水で流すダブルシャワーが効果的です。壁や床にお湯のシャワーをかけて汚れを落とし、その後水のシャワーをかけて湿度を下げます。
- 水滴と汚れを残さない
シャワーで汚れを洗い流した後は、スクイジー等での水切りがベスト。合わせて、栄養分となる汚れが溜まりがちな水栓金具の周り、浴槽と壁の間など、しっかり掃除しましょう。
- 湿気を追い出す
窓を開けるか、換気扇を回して湿気を追い出します。風量を考えると、換気扇よりも窓を開けて風を通す方が大きな風を流せるため、湿気も追い出しやすくなります。その際に必ず「二方向開口」を確認しましょう。お風呂の窓とドア、洗面室の窓を開けて風の通り道を作ります。また、換気扇を回すときは、お風呂の窓とドアを開めた方が効率は上がります。1時間程度運転すれば、湿気はなくなります。

■お風呂のカビの原因。実は天井にあります！

上記3つのポイント以外で気を付けたいのが、浴室の天井です。天井は汚れないと思われがちですが、湯気とともに上った汚れが付き、薄くカビがはえています。天井のカビは「胞子」をつくっているカビが多く、重力やわずかな気流により、浴室中に「胞子」がばらまかれています。いくら壁や床の掃除をしても、しばらくするとまたカビが発生するのは、この天井に潜んでいるカビが原因とも言えます。天井の掃除を見逃している方は、次から浴室全体を除菌するようにしてみてください。カビの繁殖が大いに防げるでしょう。

以上

安全運転アドバイス

雨天時の運転編

雨天時は路面が滑りやすく、視界も悪くなるなど車の運転には悪条件が重なります。
雨天時の危険を認識し、安全運転につなげましょう。

雨天時の事故率は晴天時の約5倍

※首都高速道路株式会社データ（平成23年度）より



注意すべきポイントと対策

1 停まりにくい ●スピードを抑えた運転を心がけましょう



- ポイント**
- 雨天時の路面は滑りやすく、乾燥した時よりも車の停止距離が長くなります。
 - 雨の降り始めは、特に滑りやすいので注意が必要です。(道路上の泥やほこりが雨に混じって、油を引いたような状態になります。)
- 対策**
- ◇スピードを抑え、車間距離を十分に確保しましょう。
 - ◇「追越」はスピードの出し過ぎにつながりやすいので、避けましょう。

2 視界が悪い ●安全確認をしっかりと行いましょう



- ポイント**
- 雨天時は視界が悪いので、危険の発見も遅れやすくなります。
 - 側方や後方はガラスやサイドミラーについた水滴で特に見えにくいので、安全確認が不十分になりがちです。
- 対策**
- ◇スピードを抑えるとともに、早めのライト点灯などで、早期に危険を発見し、事故を防ぎましょう。
 - ◇バック時は、慎重に後方を確認し、いつでも停止できる速度で運転しましょう。

3 危険な行動に遭遇する ●歩行者や自転車の動きに注意しましょう



- ポイント**
- 傘を用意していない歩行者は、早く目的地へ行こうと先を急ぎがちです。そのため、十分な安全確認をせずに道路を横断するなど危険な行動をとることがあります。
- 対策**
- ◇歩行者や自転車が車に気付いていないと考え、慎重な運転を心がけましょう。
 - ◇ライトを積極的に点灯し、自車の存在を知らせましょう。

あたり前のことを確実に行うことが事故防止につながります。ぜひ安全運転をお願いします。

引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社
北九州支店 北九州第二支店
〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町2-5-7
三井住友海上小倉ビル5F
TEL 093-521-7428

取扱代理店 クレスト有限公司
〒803-0851 北九州市小倉北区木町1丁目1-23-805
TEL 093-563-2311